

下廣 寿 学位論文審査要旨

主 査 村 脇 義 和
副主査 谷 口 晋 一
同 山 田 貞 子

主論文

Association between serum soluble low-density lipoprotein receptor levels and metabolic factors in healthy Japanese individuals

(健全日本人における血清中の可溶性LDL受容体とメタボリック因子との関連)

(著者：下廣寿、谷口晋一、孝田雅彦、酒井知恵子、山田貞子)

平成26年 Journal of Clinical Laboratory Analysis 掲載予定

参考論文

1. 同一採血部位の血糖値がSMBG機器と検査室で乖離した原因の検討

(著者：伊藤麻衣、鎌田八代生、上川麻美、平井千雅子、吉田麻奈美、下廣寿、
山田貞子)

平成24年 米子医学雑誌 63巻 127頁～131頁

審 査 結 果 の 要 旨

可溶性LDL受容体はLDL受容体の細胞外ドメインが切断されて形成される。本研究はこの可溶性LDL受容体を健常成人のヒト血清を用いてELISAにより測定し、臨床的特徴を検討したものである。その結果、可溶性LDL受容体は中性脂肪、LDLコレステロール、BMIと相関し、特に中性脂肪との関連が強いことが判明した。本論文の内容は、臨床的意義の不明であった可溶性LDL受容体が、新しいメタボリック症候群のマーカーとしての有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。